

(様式①)

事業計画書目次

[港湾局]港湾整備事業費会計 1款5項1目 建設発生土受入事業費 (単位:千円)

計画書頁	事業名	令和8年度		令和7年度		増△減（8－7）		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	建設発生土受入事業	11,702,390	0	9,483,660	0	2,218,730	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
	計	11,702,390	0	9,483,660	0	2,218,730	0	

令和8年度 事業計画書

事業局課	港湾局	新本牧事業推進課				新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	1	
歳出予算科目	港湾整備事業費会計	1	款	5	項	1	目	政策群番号	11	施策群番号	25
事業名称	建設発生土受入事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	11,702,390	0	0	11,702,390	0	0
令和7年度	9,483,660	0	0	9,483,660	0	0
増▲減	2,218,730	0	0	2,218,730	0	0

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予 算	事業費	6,877,411	10,004,116	8,430,000		6,640,000	10,050,000
	市債＋一般財源	0	0	0		0	0
決 算	事業費	6,395,687	3,897,373				
	市債＋一般財源	0	0				

事業概要 (アクティビティ)		1 新本牧ふ頭における建設発生土の受入 2 豊かな海づくり及び市民理解促進事業の推進							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
建設発生土の安定的な受入	単位	目標	受入の実施	受入の実施	受入の実施	受入の実施	受入の実施	受入の実施	受入の実施
		実績	受入の実施	受入の実施					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
市内公共工事の効率化	単位	目標	効率化	効率化	効率化	効率化	効率化	効率化	効率化
		実績	効率化	効率化					
事業目的		1 市内から発生する建設発生土の長期的・安定的な受け入れを図る。 2 市内公共建設発生土等の受入などにかかる業務を一元的に管理する。 3 国際コンテナ戦略港湾として国際競争力を強化するため、埋立事業の円滑な実施により、大水深・高規格コンテナターミナルと、高度な流通加工機能を有するロジスティクス施設などの用地を整備する。 4 埋立に伴う海域環境保全等の取組として、市民に開かれた漁港施設の改修や藻場・浅場の造成など、豊かな海づくりを推進するとともに、広報・PR等により市民理解の促進を図る。							
背景・課題		1 市内公共工事から発生する土砂の長期的・安定的な受け入れ場所の確保が求められている。 2 国際コンテナ戦略港湾として国際競争力を強化するため、大水深・高規格コンテナターミナルと、高度な流通加工機能を有するロジスティクス施設などを整備する必要がある。							
根拠法令・方針決裁等		港湾法、公有水面埋立法							
根拠・データ等		受入予定土量 令和8年度：約220万㎡ 令和9年度：約160万㎡ 令和10年度：約150万㎡ 令和11年度：約150万㎡							
事業スケジュール		・新本牧ふ頭の埋立、広報・PR：令和3年度～ ・豊かな海づくり（市民に開かれた漁港施設の改修、藻場・浅場の造成等）：令和3年度～							
事業開始年度		令和3年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引(増減)	増減説明
	1	建設発生土受入事業	11,702,390	9,483,660	2,218,730	受入予定土量の増加による増
	細事業合計		11,702,390	9,483,660	2,218,730	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	浅野 善広	谷 政史